



お任せ見立てワクワク宅配便

てすぐに特定のメガネと結び付くレベルではありませんでした。

ある時から、今まで不得意だと思っていたタイプの顔に、むしろ得意感を持つようになりました。それからは、お顔を拝見すると「アレだな」と、お顔とメガネが即座に結びつく感覚になっていきました。

数年前に今は群馬県に住む小学生以来の顧客である親友から、任せるからメガネを選んで送ってほしい、と依頼されました。一瞬躊躇しましたが、顔のことはよく分かっていたので(掛け心地の点からも)、引き受けました。送ったメガネはとても喜ばれました。

今まで「店に来て頂いてこそ出来る」という理由で自ら封印していたものの蓋がちょっと開いたような感じです。

そしてあの「特異な状況」がやってきました。

今自分が役立てる一つの形として「お任せ見立て楽ワク便」をすることにしました。

やってみると、ご注文下さった方々が、単に似合うメガネを入手すること以上の、又は新たな、価値を感じながら(例えば、着くまでのワクワク感や、箱を開けた時に、それが自分だけの為に選ばれたものである喜びなど)このお買い物を楽しんで下さいました。

そこにメガネ選びの新たな価値を感じました。

メガネのお見立てを永く続けてきましたが、その役立ちに対する考えも変化してきました。

初めの頃は、个性的でお洒落なメガネを掛けこなす楽しさを感じて頂く為の選び→お顔の良き部分は際立たせ整えるべきは整え、メガネを掛けることでお顔がより良き見え方となる為の選び→前項の選びをしているとその方の良きお人柄が伝わるのが分かり、人柄を伝える為の選びへと・・・。

そして近年、自身の変化と共に、お客さまからの相談のされ方にも変化を感じていました。

シンプルに「似合うメガネが分からない」という方はもち論ありますが、それに加え、仕事での対人的なこと(「このメガネだと仕事ができるように見えない」「上司としてのメガネ」など)、日常のモヤモヤ感(毎朝鏡を見て、「なんかな〜コレO-O」と思う、「今のメガネにして道を訊かれなくなった」とか)、人生のステージの変化に直面して(新入社、転職、婚活)などの場面とメガネが一体になっているのです。

それにとっても示唆を感じ、今は(今迄の流れを包括したうえで)

「人生を拓き創造する力としてのメガネ」をテーマとしています。

これからも、またその先のメガネの可能性を感じながら、「任せて楽々、ワクワク見立て」をしていきたいと思えます。

